

# 新しい琵琶湖文化館に関する県民フォーラムⅣ 概要

【日時】 令和7年2月11日（火・祝）14:00～15:45

【聴講方法】 会場：コラボしが21 3階大会議室

配信：zoomウェビナー

【参加人数】 178人（会場：103人、配信：75人）

## 【議事要約】



### 開講挨拶および趣旨説明

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 文化財活用推進・新文化館開設準備室長 大橋光広

### 【第1部】新しい琵琶湖文化館 事業の紹介

#### ①事業全体と分担

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 文化財活用推進・新文化館開設準備室参事 雲出泰弘

令和9年12月開館の新しい琵琶湖文化館は、文化財の収蔵・展示、地域文化財のサポートセンター、文化観光拠点として機能する。運営は、県が文化財関連を担当し、PFI事業者が設計・建設・維持管理と文化観光を担当。事業期間は約20年、契約額は108億円。

#### ②PFIについて

事業統括（株式会社丹青社） 平島 亘

本事業では、滋賀県と民間企業の連合体が協力し、新しい琵琶湖文化館をPFI手法で整備する。PFIは民間の資金やノウハウを活用し、公共施設の設計・建設・維持管理・運営を行う手法。「株式会社琵琶湖C&S」という特別目的会社（SPC）が設立され、各専門企業が連携して事業を推進する。

#### ③建築の全体像

建築設計チームリーダー（株式会社安井建築設計事務所） 戸川勝之

地域の文化財を守りつつ、開かれた交流の場を通じ未来へ繋げることを目指した設計を行った。建物は天津港に近接し、西側広場からのアプローチにくわえ、南北からのアクセスを考慮した開放的な構造とする。内部は文化財の保護、交流空間の創出、環境負荷低減、ユニバーサルデザインを考慮し、機能的なゾーニングとする。

#### ④新しい琵琶湖文化館の展示室と展覧会構成

滋賀県立琵琶湖文化館主任学芸員 和澄浩介

4階来館者フロアに位置する展示室の天井高は5.2mで、4mある県内最大の重要文化財の彫刻が展示可能。展示ケースも県内最大規模の掛け軸を安全に展示でき、またケースの奥行きは可変とすることで、仏像にも小さな掛け軸にも対応可能。展覧会は特別展、企画展、テーマ展の3種の規模があり、大小ある2室の展示室で柔軟に開催する。

#### ⑤琵琶湖文化館の楽しみ方

展示企画・設計チームリーダー（株式会社丹青社） 津田 真

開館準備・文化観光等チームリーダー（株式会社丹青社） 砂川亜里沙

新しい琵琶湖文化館では、従来の収集保存、調査研究、展示、教育普及に加え、地域連携や交流事業にも取り組む。内容は滋賀の伝統文化に根ざしたもので、楽しく気軽に訪れることができる工夫を施す。フリースペースでは柔軟な展示や体験型コンテンツを用意し、ショップや飲食可能スペース等も設置。地域との連携を重視し、開館準備期間中もイベントを通じて多くの方に参加を呼びかける予定。

## 【第2部】トークセッション「近江の文化財でひろげる滋賀の魅力」

ゲストスピーカー：大津市歴史博物館副館長（学芸員） 木津 勝 氏

主な話題

### ●PFIの利点と運営の協議

設計から維持管理まで広範な議論が行われ、滋賀県と琵琶湖C&Sとが一体となり、プロジェクトを進めている点が評価される。

### ●来館者のアプローチ

来館者への工夫に関する木津氏からの質問に対し、まちとの繋がりを重視したアプローチ空間や、近江の文化財に親しめる無料スペースでの多様な展示により、興味を引く工夫に取り組むと述べられた。

### ●文化財エリアと展示

安全性を最優先とし、文化財の動線や収蔵スペースの設計について詳細な議論がなされたと説明があった。実物を鑑賞できる展覧会は数ヶ月ごとに入れ替え、常に新鮮な展示を提供する。

### ●会場からの質疑応答

参加者から建物の外観や木材の使用についての質問が出た。外観はコンクリートの素材が使用される予定で、耐久性と安全性を考慮した結果として説明された。

### ●まとめ

これまでの琵琶湖文化館への地域の方の思いを引き継ぎながらも、新しい琵琶湖文化館が文化財の保護と展示・交流の拠点として、多くの人々に愛される施設になってほしいと期待いただいた。



## 閉講挨拶

滋賀県顧問（新文化館開設準備担当） 津田徹英

### 【会場特設コーナー】

会場後方に寄付受付やフォトスポットを設置し、フォーラム開催時間の前後にお楽しみいただいた。特に66年前の「琵琶湖文化館 建設費協力箱」への寄付金投入と、寄付の返礼としてのガチャガチャが好評を得た。

寄付者数：34名、寄付金総額：53,021円



# 新しい琵琶湖文化館に関する県民フォーラムⅣ 終了後アンケート概要

## ①回答者について

- ・年代は**70代以上 (33%) が最も多く**、60代 (21%) を含めると、54%と半数を超える。
- ・お住まいは県内 (82%) 多数で、特に大津市内 (全体の59%) が非常に多く、**施設立地地域在住の方から注目**されていることを示す。
- ・新しい琵琶湖文化館について、本フォーラムの前から開館時期・場所も含めて知っていた (74%) 方が多く、**以前から関心が高い**回答者が多かった。

## ②フォーラムについて

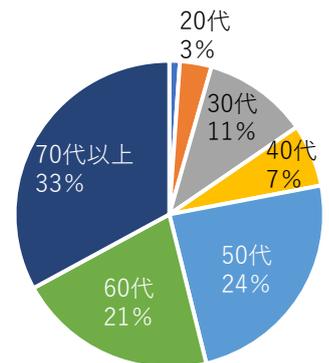
- ・フォーラムを知ったきっかけはチラシ (37人) が最も多く、**印刷物の広報効果は高い**ことを示す。
- ・大変満足 (33%)、満足 (48%)、やや満足 (13%) の合計94%と、**満足度が非常に高い**。
- ・満足度の理由としては、**内容理解** (27人) や**新文化館への期待** (12人) が多くあった。
- ・もっと聞きたかったこととして、**現在の琵琶湖文化館について** (8人) と**アクセスの考え方** (7人) が多く寄せられた。
- ・今後の県民フォーラムへの意見については、**継続の希望** (10人) が多くあった。

参加者数：178人 (会場：103人、配信：75人)  
アンケート回答者数：91人 (会場：73人、配信：18人)

## 回答者について

### ・年代

10代以下：1% (1人)、20代：3% (3人)、30代：11% (10人)  
40代：7% (6人)、50代：24% (22人)、60代：21% (19人)  
70代以上：33% (30人)

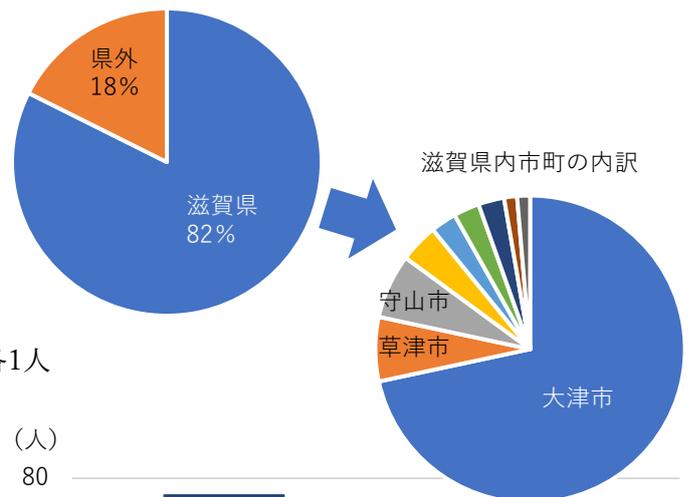


### ・お住まい

滋賀県：82% (75人)、県外：18% (16人)

大津市：54人、草津市：5人、守山市：5人  
栗東市：3人、彦根市：2人、長浜市：2人  
ほか、高島市、東近江市：各1人

京都府：6人、東京都：3人、大阪府：2人  
ほか、千葉県、神奈川県、三重県、奈良県：各1人



### ・新しい琵琶湖文化館について、本フォーラムの前からご存知でしたか？

知っていた：74% (67人)  
開館時期・場所は知らなかった：18% (16人)  
知らなかった：8% (7人)  
未回答：1% (1人)



## フォーラムについて

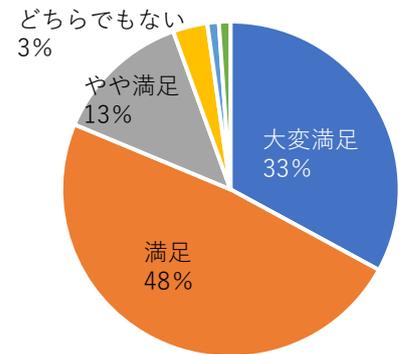
### ・本フォーラムを何で知りましたか？（複数回答可）

チラシ：37人  
近江歴史探訪案内メール：20人  
知人にさそわれて：18人  
琵琶湖文化館掲示板：9人  
新聞：5人  
滋賀県HP：5人  
ほか、SNS：4人、大津駅ポスター：2人など



### ・満足度

大変満足：33%（30人）、満足：48%（44人）  
やや満足：13%（12人）、どちらでもない：3%（3人）  
やや不満：1%（1人）、未回答：1%（1人）



## 自由記述欄の主要なご意見

### ・満足度の理由

新文化館への**理解の深まり**（27人）や、新文化館の**開館を期待**（12人）などの肯定意見

PFI、建築、展覧会と様々な視点からのお話をきくことができ、理解が深まりました。どのような文化館になるかとても楽しみです。

**もっと聞きたかった、質問時間が欲しかった**などの要望（6人）

もう少し参加者の質問・意見を聞く時間をとって欲しかった。

### ・本フォーラムでもう少し聞きたかったこと

**現在の琵琶湖文化館や大トンボに関すること**（8人）

古い琵琶湖文化館はどうなるのか、とり壊すのか、保存して何らかの活用が図られるのか。また、「トンボ」は新しい文化館でも展示してほしい。

**JR大津駅からの道順や、車での来館等、アクセスに関すること**（7人）

大津駅からのアプローチは、足はどうするのか。魅力のあるアプローチを作ってほしい。

**文化観光に関すること**（4人）

「県内各地とのつながり」の工夫・展開例などあればお伺いしたいと思いました。

### ・今後の県民フォーラムへのご意見

**フォーラムの継続の希望**（10人）

県民フォーラムは多方面テーマでどんどん開催してほしい。

**より広範な広報の要望**（4人）

開催の日時や内容等もっと早くに分かると良いと思います。参加者の増大につながると思う。